

札幌市環境局環境都市推進部 発表

Press Release



1. 水と森と空気から考える、みらい
2. エネルギーから考える、みらい
3. ごみと資源から考える、みらい
4. いのちから考える、みらい

発表日 令和7年（2025年）7月11日

札幌市環境局、札幌市小中学校環境教育研究会、株式会社アドバコムによる 「札幌市の子どもたちへの環境教育・環境学習や啓発活動の推進に関する連携協定」 を締結します

札幌市環境局、札幌市小中学校環境教育研究会（会長：札幌市立資生館小学校教頭 斉藤 健一 以下：環教研）及び株式会社アドバコム（代表取締役 臼井 純信）は、環境教育・環境学習や啓発活動（以下「環境教育等」）の推進によって、子どもたちやその家庭、地域社会における環境意識の向上と行動変容を促すことを目的とした「札幌市の子どもたちへの環境教育・環境学習や啓発活動の推進に関する連携協定」を2025年7月26日に締結します。

三者が有する資源や強みを有効に活用し連携協力することで、次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市「環境首都・SAPPORO」の実現を目指してまいります。

1 協定について

(1) 協定締結の背景

札幌市では、持続可能な社会をつくるため、環境について理解と認識を深めるとともに、自ら考え、判断・行動することのできる人を育てることを目標に「札幌市環境教育・環境学習基本方針」（2019年3月改定）に基づき、環境教育等に関する様々な施策を進めているところです。

今後、札幌市における環境教育等をより実効性のあるものとするため、環教研の設立や、株式会社アドバコムが発行する子ども環境情報紙「エコチル」の創刊20年目を契機に、行政・学校教員・企業が役割分担の上で連携して環境教育等を推進するという、先進的な環境教育等モデルの構築を目指し、本協定を締結します。

(2) 環教研について

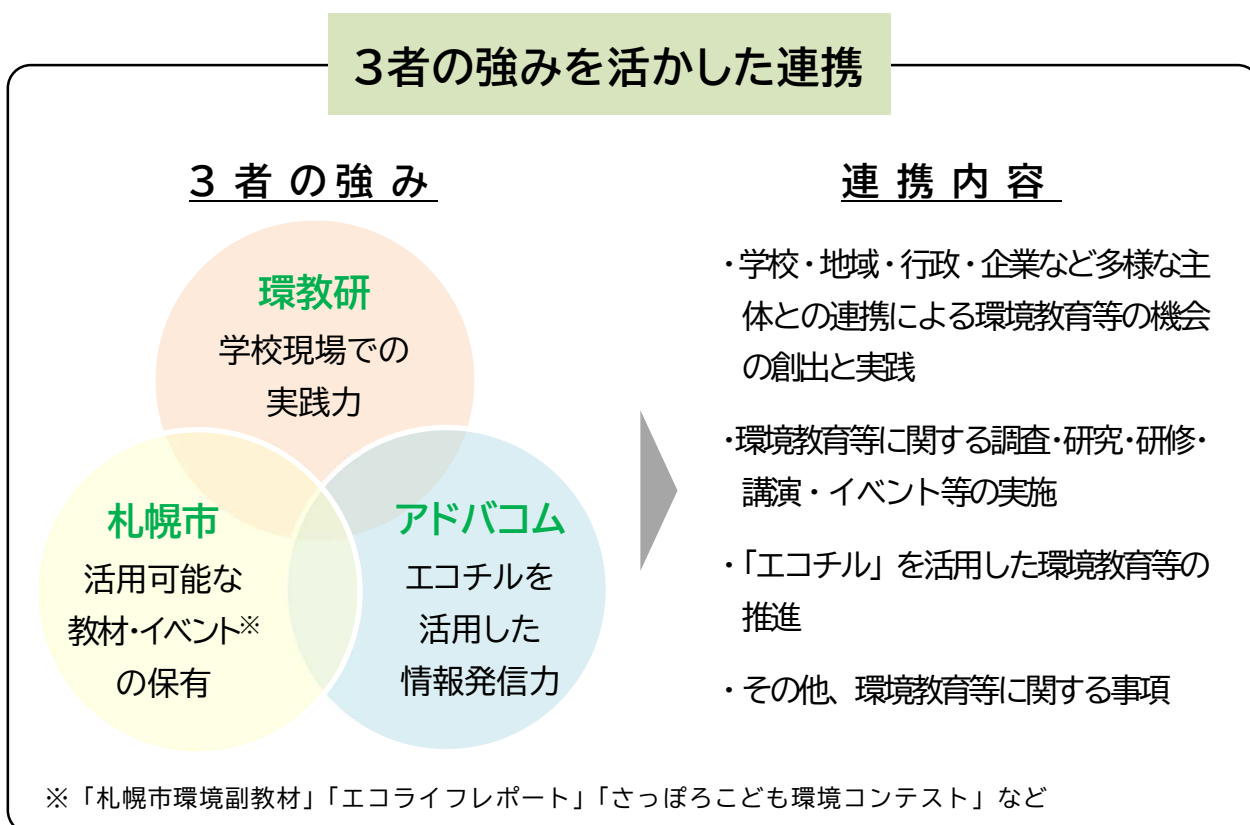
児童・生徒により豊かな環境を創造する資質と能力を身に付けてもらう目的で2025年4月に設立された、札幌市内の現役教員を中心とする研究団体です。文部科学省・環境省・日本環境教育学会とも連携する「全国小中学校環境教育研究会」（昭和39年設立）の札幌支部にあたります。

学校や教科の枠組みを越えて、様々な主体と連携・協力しながら環境教育等の研究や授業実践を行うことにより、先生方の環境教育等の資質向上や児童・生徒の活躍の場を増やすことを目指しています。

(3) 株式会社アドバコムと子ども環境情報紙「エコチル」について

株式会社アドバコムは 2001 年 3 月に設立されました。同社が発行する子ども環境情報紙「エコチル」は、子どもたちから環境活動の輪を広げていくことを目的に、2006 年 4 月に創刊され、今年で 20 年目を迎えます。現在は北海道・首都圏・関西圏を中心に全国計約 146 万部を各地域の小学校などに毎月無料配布（8 月と一部地域を除く）しています。札幌市内では、小中学校・高校に 約 136,000 部配布しており、子どもたちへの環境教育等の実践機会になっています。

(4) 協定の内容



2 協定締結式について

日時 令和 7 年 7 月 26 日（土）12：00

会場 大和ハウス プレミストドーム（札幌市豊平区羊ケ丘 1 番地）

※上記会場で実施する「環境広場さっぽろ 2025」のステージイベントプログラムの 1 つとして実施いたします。

※取材をご希望の場合は 7 月 25 日（金）17：00 までに下記担当までお問い合わせください。

3 問い合わせ先

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 札幌市役所 12 階

札幌市環境局環境都市推進部環境政策課 飯岡、谷内、富士本

TEL：011-211-2877 FAX：011-218-5108

札幌市 × 環教研 × アドバコム 三者連携協定 締結式 ～2025年7月26日(土) 環境広場さっぽろステージにて～

【三者連携協定の目的と意義】

札幌市・札幌市小中学校環境教育研究会(環教研)・株式会社アドバコムは、子どもたちへの環境教育・環境学習と啓発活動を推進するため、三者連携協定を締結します。

この協定により、地域に根ざした環境教育等の実践力と、メディアやイベントを通じた発信力を掛け合わせることで、学校・家庭・地域をつなぐ持続可能な教育の仕組みを共創していきます。ステージでの協定締結は、未来を担う子どもたちとともに「宣言」を行い、来場者の皆さまと一緒に「自分ごと」として環境を考えるきっかけづくりとします。

【札幌市 × 環教研 × アドバコム 三者連携協定 締結式(予定)】

所要時間:約25分(12:00～12:25)

- ① オープニング 司会より協定式の趣旨と三者の紹介
- ② 各登壇者あいさつ 三者からの挨拶の中で、それぞれの立場から「子どもたちと未来を守る」取組について簡潔に紹介
- ③ 協定書署名 登壇者3名(札幌市、環教研、アドバコム)が協定書にサインし、観客に向けて署名した書面を掲げる
- ④ 「未来を守る宣言パネル」掲示 子どもたちが登壇し、パネル掲示登壇者とともに一言「未来を守ります！」など呼びかけ
- ⑤ フォトセッション(来場者参加型) 登壇者・子どもたち・希望者(来場者)も一緒にステージ前方で記念撮影
「#未来を守る宣言」のようなハッシュタグ付きでSNS発信も促進



▲「未来を守る宣言」パネルのイメージ(登壇者・子どもたちと一緒に)